

ひろしまの 土地改良

秋

2014年 第239号

お見舞い

8月20日未明に発生した広島市大規模土砂災害で犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

また、広島市の土砂災害だけでなく広島県内では、8月上旬に発生した豪雨災害により県北部地域を中心に甚大な被害

をもたらしました。

これら豪雨災害発生に伴い、農地・農業用施設の災害復旧に向け、現在市町からの要請を受け中四国管内の土連等からの応援を仰いで、災害査定に向け取り組んでいます。査定後の復旧についても引き続き会員への技術的支援を行ってまいります。



第12回ひろしまの農村フォトコンテスト 特別賞
「次世代の担い手」 佐藤 友紀 (撮影場所：三次市甲奴町)

協働がはぐくむ交流の和

～広域をまとめる沼田東農地・水・環境保全管理協定運営委員会～

はじめに

多面的機能支払の活動に取り組む三原市の「沼田東農地・水・環境保全管理協定運営委員会」は三原市沼田東土地改良区から成る「沼田東保全会土地改良区」（受益地422ha、組合員716名）と農業振興協議会（14農業振興区）、沼田東連合町内会（23町内会）で組織された「沼田東保全会」の2団体で構成され、土地改良区が中心となり活動に取り組んでいます。

ほ場整備事業完了後、約40年が経過し集落内の土地改良施設の老朽化や広範囲に渡る草刈り等の維持管理作業に対する負担軽減策に苦慮するなか、地域団体から地域の維持管理活動を望む声がかきかけとなり、沼田東保全会土地改良区と沼田東保全会が一緒になって地域全体で農地・水保全管理支払に取り組むことになりました。平成23年度から準備をはじめ、集落の農地や共同施設に関わる部分を土地改良区を中心に、町内会や振興区と何度も協議し平成24年度に採択されました。



幹線水路の草刈り・泥上げ



用水路嵩上げ作業



コンクリート継ぎ目補修

活動への取り組み

主な活動は水路の草刈り・泥上げ、補修などに取り組んでいます。特に草刈りなどは、周辺の人々の目に留まる機会も多く「自分たちも地域に貢献できることがあれば参加させてほしい。」と申し出が相次ぎました。当初87名でしたが137名に増え、どの活動においても地域単位の責任者のもと、作業割り当てや進行手順・内容を確認し合い、作業では各々の得意な分野で持ち前の技術を発揮してもらっています。

事務とりまとめを極力簡潔化し、広域・多人数の特長を活かした活動を実現するため、業務に関わる細則の作成や、作業内容や時間などにも公平さを保てるように知恵を絞っています。



吹付前の草刈り



除草剤散布

取り組みも3年目となり、当初からの懸案だった草刈りの負担軽減策として、センチピートグラスの植栽に力を注いでいます。1年で約2ha、最終的には40haをセンチピートグラスで覆う計画です。吹付前の草刈り、除草剤散布、畔焼きなどで整備を進めるうちに、以前はゴミが置かれていた場所に、新たにゴミが置かれることがなくなり、種子吹付後に芽が出てくると、地域の人たちの関心も高まり「芽が出てきたね」と声をかけられセンチピートグラスが話題に上るようになりました。取り組みを始めて地域との交流が活発になりお互いの顔、みんなの顔が見えるようになったことに、やりがいを感じています。

また、土地改良区の賦課金だけでは直せなかった施設の補修がこの事業に取り組むことで可能になり、自分たちで地域が守れる、という思いを強くし今後も土地改良区と地域住民で、継続した活動ができるよう連携を図っていきます。



雑草焼き



法面の整地

沼田東農地・水・環境保全管理協定運営委員会の概要

設立年月日：平成24年3月14日

所在地：三原市沼田東兩名

農地面積：田283.49ha、畑5.21ha

活動内容：草刈り、水路の泥上げ

幹線水路の補修、センチピートグラスの植栽

農業用施設：水路、農道

広島県農地・水・農村環境 保全協議会からのお知らせ

今年度から始まった多面的機能支払は、地域の農業者等が取り組んでいる草刈りや泥上げ、道路や水路の補修など維持管理活動等を支援するもので、**集落や土地改良区単位**で活動組織を設立して取り組むことが出来ます。

組織を設立し市町と協定を締結した後、採択申請を行う必要があります。この採択申請期限は12月25日までですので、それまでに申請してください。

詳しいことは市町の担当者又は協議会にお問い合わせください。

協議会では、水土里情報を活用 して地理情報化を推進します

活動組織が多面的機能支払交付金を活用し保全活動等に取り組んでいる、協定区域内の農地筆・施設などの情報を、水土里情報で整備した農地情報等を活用して、地図情報化に取り組むことになりました。

このことにより、対象区域の農地情報等の管理や、今後の推進に向けて市町等会員との情報の共有化を図ることが出来ます。



お問い合わせはこちらまで

広島県農地・水・農村環境保全協議会 ☎082-502-7476

県産キャベツの周年供給に取り組んでいます

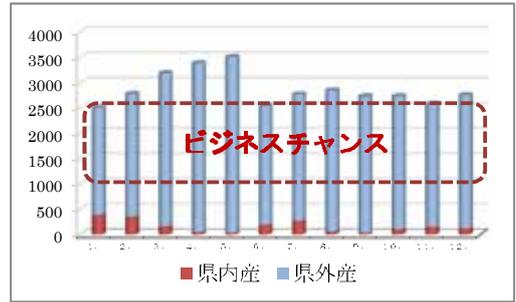
1 広島県はなぜキャベツを推進しているのか

キャベツはお好み焼きやサラダなど幅広い用途で使われており、消費量が多く年間を通じて需要が安定している野菜です。

では広島県での生産量はどうかというところ、栽培が盛んであった南部地域での生産が高齢化で減少しており、近年、中北部地域で集落法人や農業参入企業での生産が増加していますが、それでも県内自給率は7%程度に留まっています。つまり9割以上を他県産が占めているわけですから、鮮度や物流コストを考えると、県内でのキャベツ栽培はビジネスチャンスと言えます。実際に、「県産のキャベツを使いたい」「できるだけ長い期間の契約取引をしたい」という実需者の声もあります。

そこで、広島県ではJA全農ひろしまと連携して「広島県園芸振興協会キャベツ部会」を設置し、関係機関で生産拡大や販売強化に取り組んでいます。

【県内主要市場におけるキャベツの入荷量】



2 キャベツを作るメリットは

販売面の強みは「県産キャベツがほしい」というマーケットの大きさですが、作る方のメリットを簡単にまとめると次の3点になります。

- ① ハウスなどの施設が不要で、比較的少ない投資で導入可能
- ② 小規模では利益が少ないが、機械化体系で大規模に栽培することで収益性が向上
- ③ 重量野菜で若い労働力が必要になるため、地域に若者を定着させるきっかけになる

また、温暖な沿岸島しょ部から冷涼な北部まで気象条件があまりにも異なる本県の特徴を活かし、県内全域でのリレー出荷によって周年供給を実現し、産地としての競争力を高めたいと考えています。

【キャベツ経営指標】

面積	3ha	5ha	10ha
売上	1,165万円	1,942万円	3,885万円
経費	852万円	1,262万円	2,518万円
労賃	195万円	635万円	1,211万円
利益	118万円	45万円	156万円

- ・3haでは時給800円の臨時雇用のみ
- ・5haでは500万円所得者1名+臨時雇用
- ・10haでは500万円所得者2名+臨時雇用

3 いま県内でどれくらい生産が伸びているのか、どのような課題があるのか

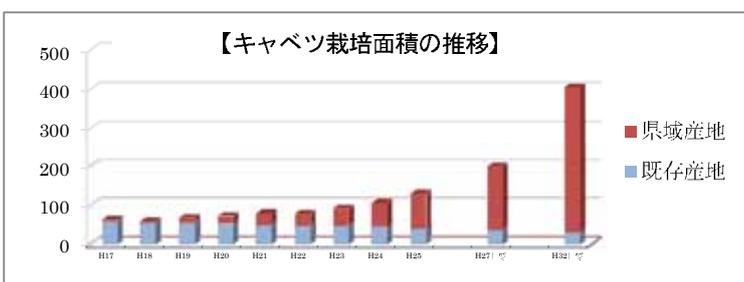
広島県園芸振興協会では、平成17年度からキャベツの生産拡大に取り組み、決して順調な道のりではありませんでしたが、法人経営体を中心に平成25年度までに70ha拡大し、県内を一つの産地として販売する仕組みに参加している「県域産地」の栽培面積は今年度100haに達する見込みです。

しかし、課題もあります。主には次の4点です。

- ① 出荷が6月下旬～7月中旬と10月中旬～12月上旬に集中しており、夏と冬～春先の出荷が不足
- ② 排水対策や大規模栽培の技術が不足しており、全体的に目標収量がとれていない
- ③ 雇用が難しい、あるいは、農地の確保が難しいことが要因で規模拡大できない生産者も多い
- ④ 生産量の増加や計画出荷に対応するための一定量をストックできる予冷庫の整備が遅れている

こうした課題を解決するため、平成26年度に「2020販売額16億円産地」に向けた県域プロジェクトを立ち上げ、集中した支援を行っています。

【キャベツ栽培面積の推移】



法人による大規模栽培



4 今後も産地を拡大していく上で具体的な戦略はあるのか

実需者から信頼される「広島キャベツ産地」を構築するための戦略は次のとおりです。

【戦略①】大型契約取引を前提とした生産

今年の冬に大型野菜カット業者の工場が県内で稼働を開始する予定で、まずはそこに安定供給できる体制を作るため、JA 全農ひろしまが中心となって契約取引の拡大に取り組んでいます。今後も、飲食業者や量販店などとの契約取引を増やし、安心して生産拡大できる販売体制を築いていきます。

【戦略②】周年供給へのチャレンジ

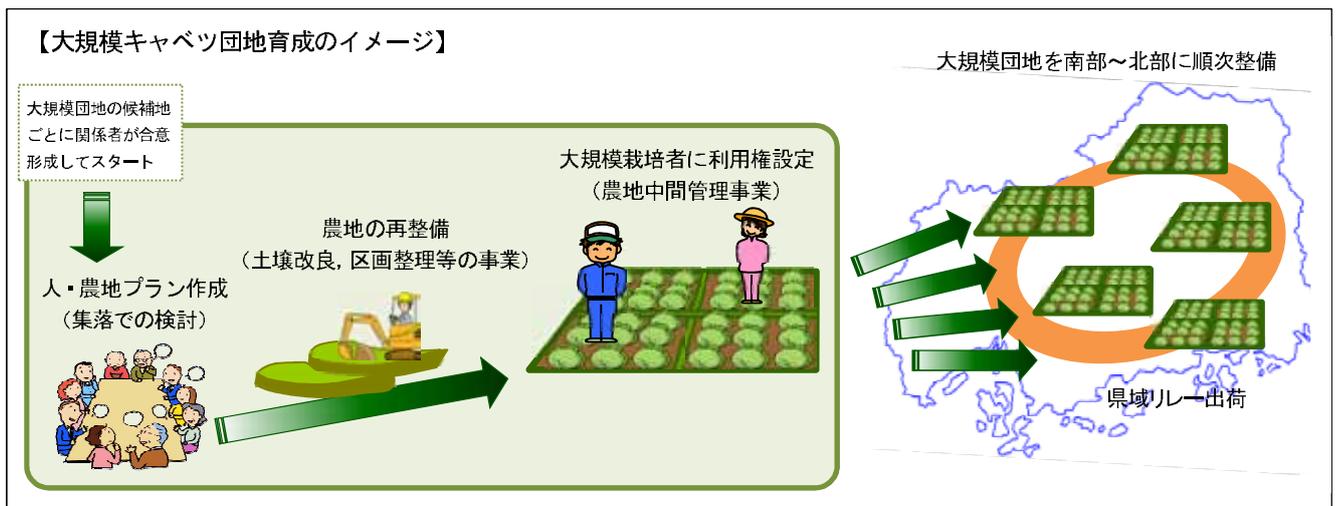
契約取引の拡大するためには、長期間安定出荷の取組が不可欠であるため、現在出荷量の少ない時期の栽培に対して、県は「周年供給体制構築助成事業」によって生産者を支援しています。

【周年供給体制構築助成事業】

- ◆H26 年度事業内容
次の時期に出荷する生産者に対し、出荷量 1 t 当たり 1 万円の助成金を交付
出荷時期：①7/下～10/上 ②12/中～3/下
- ◆要件
 - ・県域キャベツとして出荷すること（JA 出荷）
 - ・各期間中に A 品を 10 t 以上出荷すること

【戦略③】大規模キャベツ団地の育成

大口の実需者との取引を推進するため、既存の農地での生産拡大に加え、遊休農地などを活用した大規模団地を整備し、核となる法人経営体を中心に生産者が連携して計画生産する仕組みを支援していきます。



土壤改良，防風ネット設置



大規模団地での栽培実証



【農地の再整備Q&A】

- Q1 補助があるのですか？
A1 国，県，市町の補助事業が活用可能ですので，まずご相談ください。
- Q2 負担はどの程度かかりますか？
A2 10～20%程度負担が必要です。
- Q3 誰が実施するのですか？
A3 県又は市町が事業主体となって，工事を行います。

最後に、キャベツを大規模に栽培してみたいと考えている方、支援の具体的な内容を知りたいという方は、農業産地推進課にご相談ください。

問い合わせ先

広島県農業産地推進課：TEL 082-513-3591

21世紀土地改良区創造運動掲示板

8月20日未明に発生した広島土砂災害では広島県内に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様、また関係者の方々には心よりお見舞い申し上げます。安佐南区では水土里ネット祇園町外二ヶ町が管理する八木用水の施設も全面的な打撃を受けています。被災から2カ月が経過し、現在も復旧に向けた取り組みが迅速に進められています。地域のシンボルとして親しまれる八木用水に1日も早く戻るよう、職員一同心よりお祈り申し上げます。

● 水土里ネット 祇園町外二ヶ町よりお知らせ

○ 八木用水クリーン作戦決行！

8月20日の広島土石流災害により、全長16.3kmの内、約4分の1が土砂に埋まり未だに通水に至っていない八木用水ですが、今回災害に遭わなかった長束学区、原学区、古市学区で、クリーン作戦を決行することになりました。日程、問い合わせ先は次の通りです。

日 時：平成26年11月9日(日)午前9時から

雨天の場合：11月30日(日)に延期

問い合わせ先

☎082-874-3311 安佐南区祇園出張所内
水土里ネット祇園町外二ヶ町 高橋まで



(写真は以前のクリーン作戦のようす)

○ 定用水碑が見つかりました！

平成26年8月20日の未明に起こった、広島市安佐南区の土石流災害により、八木用水を開削した卯之助の功績を称え、開削50年を記念して卯之助の長男が建てた定用水碑が、細野神社を襲った土石流と共に流れてしまいどこにあるのかさえ、わからない状態になっていました。土石流を除去する業者の方をお願いして、大変な作業の中で恐縮なのですが、大事なものなので捜していただくようお願いし、約2カ月が経過した10月2日の午前11時前に業者の方から、見つかったという嬉しい知らせが届きました。幸いあまり大きな傷もなく、その上台座も出てくるなどの朗報に関係者一同胸を撫で下しています。



被災した細野神社



見つかった定用水碑。当時年号を間違えて加えたあともそのまま残っています。



細野神社の定用水碑（被災前）

～東村小学校・保育所の児童が給食米の収穫体験～

平成26年10月7日(火)、福山市立東村小学校・保育所の児童たちが給食米として6月に田植えをした東村西の田んぼで稲刈り・はざ掛体験をしました。地域の方から、鎌の持ち方や刈り方を教わると、すぐにも片手で稲を持ち「スパッ！」と刈り取る小気味いい音が聞こえはじめました。児童たちは田植えをした約180㎡の田んぼの稲を刈り取り、地域の方に教えていただきながらはざ掛を行いました。「今年は稲の実りが少し遅れていますが、はざ掛をしておくとお実が黄色になります。」と話されました。去年は1列だったはざ掛けが今年は2列も並び、刈り取りの技も一段と上がったようです。この農業体験は今年で3回目となり、収穫したお米は12月の収穫祭でふるまわれます。



稲刈りスタート



はざ掛真っ只中



早く食べたいな！

※稲刈りなどイベントのようすは、本会HP (<http://www.hdn.or.jp/main.htm>)、
全国水土里ネットHP 水土里レポーター報告 (<http://www.inakajin.or.jp/>) で随時詳細を紹介しています。

「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2014 入賞・入選作品が決定！

「新発見！ぼくのわたしのふるさと」をテーマに「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2014の審査会が10月中旬に行われ、応募総数8,359点の作品の中から入賞22点、入選94点及び団体賞が選出されました。広島県からは入賞「ふるさとの水と土優秀賞」、「お米がうまいで賞」と、入選4点、団体賞は水土里ネット福山が「水土里ネット理事長賞」を、水土里ネット祇園町外二ヶ町が「八木用水賞」にそれぞれ選ばれました。

また、県内の入賞・入選作品のうち、水土里ネット福山から入賞「ふるさとの水と土優秀賞」と入選2点、水土里ネット祇園町外二ヶ町から入選2点が選ばれています。作品や授賞式の模様は併せて次号でご紹介します。



広島県内の受賞作品一覧

★入賞	氏名	応募とりまとめ団体
ふるさと水と土優秀賞「たうえ」	井田 せなな	水土里ネット福山
お米がうまいで賞「おとうさんのおしごと」	堤 中 美 優	東広島市立豊栄小学校
★入選	氏名	応募とりまとめ団体
「八木用水」	石 橋 彩 花	水土里ネット祇園町外二ヶ町
「大切な八木用水」	井出ノ瀬 舜	水土里ネット祇園町外二ヶ町
「くわいの草刈り」	西 原 稜 紀	水土里ネット福山
「だんごおし」	山 下 陽 太	水土里ネット福山
★団体賞	氏名	応募とりまとめ団体
八木用水賞「おだやかな水路に泳ぐ鯉」	新 村 日 菜	水土里ネット祇園町外二ヶ町
水土里ネット福山理事長賞「冬に向けてのくわいの手入れ」	掛 谷 海 翔	水土里ネット福山

第13回 ひろしまの農村 フォトコンテスト

応募締切

平成27年

2月13日(金)

(当日消印有効)



「孫も稲刈り」



「虫送りの頃」



「春爛漫の里山」

昨年度最優秀賞
「棚田の曙」

撮影者のコメント

メインフィールドは井仁の棚田です。夜明け前に現地に到着し、この一瞬を待ち続けました。

※写真は昨年度受賞作品です。

募集
テーマ

「新しい農業・農村のちから」「水土里あふれる景色」

「農村」には四季を通してたくさんの魅力があります。広島県内の四季折々の風景、伝統文化、何気ない人々の生活、農業に挑戦する姿・新しい力——。レンズをとおした、あなたの「新しい発見」が伝わるとっておきの一枚をお待ちしています。

部門紹介 (プロ・アマ問いません)

施設・風景部門

農作業や子供たちの農業体験、作物の収穫作業、ため池やダム等の景観など。

ハツラツ女性部門

農作業や農産品づくりなどにかかわるハツラツとした女性の姿など。

地域イベント部門

地域で伝わる伝統的な行事や地域ならではのイベント、都市部の人々との交流など。

入賞作品には賞金等農産物

【最優秀賞】1点：賞金1万円

【優秀賞】2点：賞金5千円

【部門賞】3点：記念品

【広報委員会特別賞】10点程度：広島県内農産物

過去の受賞作品は

詳細・応募方法はウラ面をご覧ください。

みなさんからのとっておきの1枚をお待ちしております。

主催 ひろしま農業農村整備広報委員会
(広島県・広島県土地改良事業団体連合会)



後援 中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、
広島ホームテレビ、株式会社日本農業新聞中国四国支所、
株式会社シグマ広島、広島県農業協同組合中央会



住みやすく豊かな村づくり
みどり
水土里ネットひろしま

季刊 ひろしまの土地改良 第239号

■ 平成26年10月15日
編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館
■ TEL (082) 502-7470 ■ FAX (082) 502-7480
■ http://www.hdn.or.jp
■ 印刷：佐々木印刷株式会社